

基本情報

国名	イギリス
その他の国名（国名で「その他」を選択した場合）	
大学名	ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院
その他の大学名（大学名で「その他」を選択した場合）	

所属

言語文化学部・国際社会学部・大学院を選択）	国際社会学部
各学生の専攻する地域言語一覧より選択	アラビア語
学年	4
留学時学年を選択	3

留学先

学部	派遣留学のため指定なし
留専攻	同上

留学期間

開始	2019/9/23
終了	2020/3/20

留学前

留学の目的	<ul style="list-style-type: none"> 1. イスラエルのナショナリズムについての理解を深める 2. ナショナリズムを理解するために社会人類学を学ぶ 3. 英語力の向上
-------	--

求められた語学力

英語TOEFL	
英語	IELTS 6.5
その他	
レベル	

情報収集方法

	友人
	先輩
	HP
その他	
参考になるHP	

留学準備

ビザ申請を始めた時期	7月
ビザ申請方法	CAS（入学許可証）を受けとってから、オンラインで申請します。
航空券を準備した時期	7月
航空券準備方法	スカイキャナーを使って予約しました。
履修登録を始めた時期	9月
履修登録方法	詳細はSOAS側からメールで送られてきます。 https://www.soas.ac.uk/studyabroad/courses/ でシラバスの一覧を見ることができます。
入寮申込みを始めた時期	5月
入寮申込み方法	SOASからのメールでの案内にしたがって、オンラインで申し込みました。
住居探しを始めた時期	5月
住居探し方法	各寮のHPやYouTubeを見て、条件や雰囲気をお案して決めました。
保険に加入した時期	6月
保険加入方法	外大の案内に従って申し込みました。
予防接種を受けた時期	10月
予防接種の種類	SOASで髄膜炎(Meningitis)と新三種混合ワクチン(MMR)の予防接種を無料でやっていたので、髄膜炎のほうを受けました。
語学強化を始めた時期	
語学強化方法	何もしなかったのですが、留学中に困ったのできちんと対策すべきだと思います。
その他の準備を始めた時期	
その他の準備内容	

留学中

学年暦

9月
一学期開始
11月
Reading Week
12月
一学期終了、冬休み
1月
二学期開始
2月
Reading Week
2月
Reading Week明けからSOASはストライキに入り、ほとんどの授業が行われませんでした。
3月
COVID-19がロンドンにも広がり始めていたため、日本に帰国しました。
3月
二学期終了
4月
三学期開始 課題の提出期限や試験が延期され、数少ない授業や試験はすべてオンラインで行われることになりました。
7月
年度終了

留学生科目

科目名	Academic Essay Writing
使用言語	英語
科目名	In-sessional Dissertation writing
使用言語	英語
科目名	One-to-one tutorial
使用言語	英語
科目名	
使用言語	
科目名	
使用言語	

学部・大学院科目

受講	可
受講可→聴講のみ/単位取得を選択	単位習得

学部・大学院科目

科目名	Arabic 500
使用言語	アラビア語、英語
科目名	Introduction to Social Anthropology
使用言語	英語
科目名	Social Theory
使用言語	英語
科目名	Critical Issues in Israeli Politics and Society
使用言語	英語
科目名	Nationalism, ethnicity and state in Asia and Africa
使用言語	英語

居住環境

居住環境	学生寮
家賃	月10万円程
支払い方法	クレジットカードから引き落とし
部屋人数（人部屋）	一人部屋
家族・同居人（人）	なし
門限	なし
食事	朝夕の食事付き

セキリティ-	★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★
全体の印象	★ ★ ★
大学までの距離	1 km弱
大学までの所要時間	5～10分
応募方法	SOASのメールに従ってください。
近隣施設	コンビニ 銀行 病院 スーパー 郵便局 薬局
その他の近隣施設)	必要なものは何でもそろいます。
住居にあった設備	机・椅子 (部屋) 机・椅子 (共有) キッチン (共有) ベッド (部屋) 冷蔵庫 (共有) 本棚 (部屋) シャワー (共有) クローゼット (部屋) 洗面台 (部屋) 洗面台 (共有) インターネット (部屋) ランドリー (共有) 冷暖房 (部屋) トイレ (共有)
その他住居にあった設備	映画館、自習室、ビリヤード台、卓球台、スクワッシュコート、ピアノ、演奏用の防音室などなど色々あります

治安状況

住居周辺の評価	★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★
大学周辺の評価	★ ★ ★
気をつけるべき点	夜に一人で外出するのは避けたほうがいいと思います。

学内環境

食堂の評価	★ ★ ★ ☆ ☆
食堂についてのコメント	いつも混んでいます。
図書館の評価	★ ★ ★ ★ ★
図書館についてのコメント	日本では入手できないような文献が沢山あります。

インターネットの評価	★★★★★	
インターネットについてのコメント	★★★★★	困ったことはないです。
売店・ブックストアの評価	★★★★☆	
売店・ブックストアについてのコメント	★★★★☆	いつも混んでいますし、特別安いわけでもないです。
大学のサポートの評価	★★★★★	
大学のサポートについてのコメント	★★★★★	こちらから働きかければ、色々な手助けをしてくれます。
全体の印象) 評価	★★★★★	
全体の印象) についてのコメント	★★★★★	アカデミックな雰囲気と社会変革を志向するエネルギーが入り混じった独特の雰囲気がある、とてもユニークで刺激的な学校です。

スケジュール

Weekday(放課後の過ごし方)	課題の論文を読んだり、友達とカフェでしゃべったりして過ごしました。
Weekend(休日の過ごし方)	友達と出かけたり、ダンススクールに通ったり、勉強したりして過ごしました。

おすすめスポット・旅行先など

ロンドン：長い歴史と最先端の流行が混在している町なので、出歩くたびに新たな発見があります。特に、本場のミュージカルやバレエは圧巻なので、興味のない人にも一度は足を運んでいただきたいです

チェスキークルムロフ（チェコ）：中世の趣を感じさせるお城の夜景が素晴らしいです。

目標

1	イスラエルのナショナリズムについての理解を深める	★★★★★
その成果 1		★★★★★
2	ナショナリズムを理解するために社会人類学を学ぶ	★★★★★
その成果 2		★★★★★
3	英語力の向上	★★★★★
その成果 3		★★★★☆

今後の課題

1. 英語力、特に友達同士の砕けた会話を聞き取るのに苦勞しました。

2. 現代の社会問題についての背景知識をもっとつけたいです。

直面した問題、日本で準備すべき、だったと感じたこと

リスニングとリーディングは日本にいるうちに完璧に近づけてから留学するべきでした。現地では日本では出来ない様々な経験が出来るのに、これらの技能が不足していると課題や授業の復習などに必要以上の時間がかかり、大切な時間を無駄にってしまうからです。

帰国後

進路予定

未定

就職の場合：内定している あるいは 目指す業界

後輩へのアドバイス

一日でも早く、状況が収束することを願ってやみません。
今後学生から質問が出た場合、メールアドレスを伝えて可
も良いですか？

基本情報

国名	イギリス
その他の国名（国名で「その他」を選択した場合）	
大学名	ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院
その他の大学名（大学名で「その他」を選択した場合）	

所属

言語文化学部・国際社会学部・大学院を選択)	国際社会学部
各学生の専攻する地域言語一覧より選択	中国語
学年	4
留学時学年を選択	3

留学先

学部	留学生は学部所属なし。
留専攻	

留学期間

開始	2019/10/1
終了	2020/6/12

留学前

留学の目的	東アジアの国際関係について、イギリスから客観的に学ぶこと。
-------	-------------------------------

求められた語学力

英語TOEFL	
英語	IELTS overall 6.5
その他	基準に満たなかった場合、pre-sessional courseへの参加が求められる。
レベル	

情報収集方法

	HP
その他	
参考になるHP	beo等、留学エージェントのホームページ

留学準備

ビザ申請を始めた時期	6月
ビザ申請方法	新橋のイギリスのビザセンターに申請に行った。
航空券を準備した時期	6月
航空券準備方法	skyscanner で安いチケットを探した。
履修登録を始めた時期	9月
履修登録方法	SOAS Moodle を使う。
入寮申込みを始めた時期	4月
入寮申込み方法	sanctuary student という寮の管理会社のHPから。
住居探しを始めた時期	4月
住居探し方法	大学から案内が来る。早い者勝ちなので良い寮はすぐ埋まります。
保険に加入した時期	6月
保険加入方法	外大から案内された通りに加入した。
予防接種を受けた時期	
予防接種の種類	
語学強化を始めた時期	
語学強化方法	ずっとしていたような気がします。
その他の準備を始めた時期	
その他の準備内容	

留学中

--

学年暦

7月
pre-sessional のため留学開始よりも早くロンドン入りした。この期間にライフスタイルが確立できた。

10月
term1の授業開始
12月
term1終了、クリスマスと正月の休み
1月
term2開始
2月
ストライキが起こり授業が止まり、ほぼ全ての授業がオンラインになる
3月
コロナの感染拡大で帰国を決断
7月
エッセイ提出を持って、一応の留学終了
1月

留学生科目

科目名
使用言語
科目名
使用言語
科目名
使用言語
科目名
使用言語
科目名
使用言語

学部・大学院科目

受講	可
受講可→聴講のみ/単位取得を選択	単位習得

学部・大学院科目

科目名	中国語スピーキング
使用言語	中国語
科目名	中国語ライティング
使用言語	中国語
科目名	中国政治
使用言語	英語
科目名	開発政治
使用言語	英語
科目名	War and International (戦争学?)
使用言語	英語

居住環境

居住環境	学生寮
家賃	1 academic year で100万くらいしました。立地が良かったが建物はあまりよろしくなかった。
支払い方法	カード
部屋人数 (人部屋)	1、キッチンとダイニングは5人で共用。所謂flatです。
家族・同居人 (人)	1
門限	なし
食事	なし。自炊またはuber。
セキリティー	★ ★ ☆ ☆ ☆ ★ ★
全体の印象	★ ☆ ☆
大学までの距離	2kmほど

大学までの所要時間	徒歩20分
応募方法	早い者勝ちで管理会社のhpから
近隣施設	コンビニ 銀行 スーパー 郵便局 薬局
その他の近隣施設)	パブ
住居にあった設備	机・椅子（部屋） 机・椅子（共有） キッチン（共有） ベッド（部屋） 冷蔵庫（共有） 本棚（部屋） シャワー（部屋） クローゼット（部屋） 洗面台（部屋） インターネット（部屋） インターネット（共有） ランドリー（共有） 冷暖房（部屋） トイレ（部屋）
その他住居にあった設備	猫

治安状況

住居周辺の評価	★ ★ ★ ☆ ☆ ★ ★ ★ ★
大学周辺の評価	★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ☆
気をつけるべき点	自分で気をつけていれば大丈夫だが、時々weedの匂いもするし、酔っ払いもいる。

学内環境

食堂の評価	★ ★ ☆ ☆ ☆
食堂についてのコメント	美味しくはない。大学近くのカフェをよく使っていた。
図書館の評価	★ ★ ★ ★ ★ ★
図書館についてのコメント	自習環境としては最適。留学中に最も長い時間を過ごした場所かもしれません。
インターネットの評価	★ ★ ★ ★ ★ ★ ★
インターネットについてのコメント	問題なし
売店・ブックストアの評価	★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

売店・ブックストアについてのコメント	売店は数カ所あり、本屋もキャンパスから徒歩2分くらい。 ★ ★
大学のサポートの評価	★ ☆ ☆
大学のサポートについてのコメント	言ったらやってくれることもあるが、待っていたら何もやってくれない。 ★ ★
全体の印象) 評価	★ ★ ★
全体の印象) についてのコメント	勉強する環境としては最高です。

スケジュール

Weekday(放課後の過ごし方)	図書館に行き、予習復習。毎週膨大な量のrequired readingが課されるのでできる限りそれをこなしていた。金曜日の夜は大学のパブなどで友達とビールを飲んでいた。
Weekend(休日の過ごし方)	一日は図書館に行っていた。もう一日は家事をした後、サッカー観戦に行ったり、古着屋に行ったりしていた。

おすすめスポット・旅行先など

west londonのbrick laneという通り。古着屋が立ち並び、週末にはマーケットが開かれる。東京でいう下北沢か高円寺のようなところ。個人的には好きなところです。

目標

1	東アジア政治を学ぶ ★ ★
その成果 1	★ ☆ ☆
2	将来の方向性をなんとなく見つける ★ ★ ★ ★
その成果 2	★ ★ ★ ★
3	英語を伸ばす ★ ★ ★ ★
その成果 3	★ ★ ★ ☆

今後の課題

最大の目標は東アジア政治を学ぶことであったが、なんとなく履修した開発政治が予想外に興味深く、興味に移ってしまった感が否めない。英語は使わないと忘れる人間であることを再認識させられた。

直面した問題、日本で準備すべき、だったと感じたこと

基本的な国際関係学の学術書（歴史の終わり、文明の衝突等）をもう一度読んでおけば良かった。またSOASに行くならばエドワードサイドのオリエンタリズムは読んでおくべきだった。

帰国後

進路予定

進学（海外）
就職の場合：内定している あるいは 目指す業界

後輩へのアドバイス

SOASに留学する外大生は大学の特性上、英語専攻は少ないようです。自分の専攻地域に留学しない決断をするのは勇気があるかと思います。私なんぞは繰り上げ合格の身なので大したことは言えませんが、行ってみたら何かいいことがあるかもしれないのでよろしければ是非。

今後学生から質問が出た場合、メールアドレスを伝えて可
も良いですか？

基本情報

国名	イギリス
その他の国名（国名で「その他」を選択した場合）	
大学名	ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院
その他の大学名（大学名で「その他」を選択した場合）	

所属

言語文化学部・国際社会学部・大学院を選択)	言語文化学部
各学生の専攻する地域言語一覧より選択	ビルマ語
学年	3
留学時学年を選択	2

留学先

学部	Languages, Cultures, and Linguistics
留専攻	South East Asian Studies

留学期間

開始	2018/9/24
終了	2019/6/15

留学前

留学の目的	東南アジアに対し、西洋からの視点を得ることで、現在の諸問題の根底を知る。 英語とビルマ語を上達させる。ビルマ語を英語で学ぶことで、新たな言語習得の感覚を体験するとともに、言語への理解を深める。
-------	---

求められた語学力

英語TOEFL	
英語	IELTS 7.0 程度
その他	
レベル	

情報収集方法

	友人
	先輩
	先生
	HP
その他	説明会等
参考になるHP	

留学準備

ビザ申請を始めた時期	6月
ビザ申請方法	エージェントに代行サービスをお願いした
航空券を準備した時期	7月
航空券準備方法	先輩から情報を得てJALの学割を利用した
履修登録を始めた時期	9月
履修登録方法	現地コーディネーターからの指示を通じて行った
入寮申込みを始めた時期	6月
入寮申込み方法	大学からの案内メールを通して行った
住居探しを始めた時期	
住居探し方法	
保険に加入した時期	5月
保険加入方法	外大の説明会で受けた説明の通り行った
予防接種を受けた時期	
予防接種の種類	
語学強化を始めた時期	7月
語学強化方法	論文の書き方を自習した
その他の準備を始めた時期	
その他の準備内容	

留学中

--

学年暦

9月
オリエンテーションウィーク。初週の授業には気になる授業すべてに参加し、Department Officeにて履修変更を行うことも可能です。

10月
Term 1の授業開始

11月
Reading weekと呼ばれる一週間の休みがあり、ブリュッセルへの旅行を楽しんだり、エッセイを書いたりしていました。

12月
クリスマス休暇。長期旅行へ出かけました。

1月
Term2の授業開始

2月
2回目のReading weekがあります

3月
イースター休暇。旅行に出かけつつ、エッセイの締め切りにも追われていました。

4月
Term3開始。授業によって2週間のRevision weekがありました。

5月
試験期間で、Term 1とTerm2、2学期分の試験を一気に行います。

6月
帰国

留学生科目

科目名	In-session course
使用言語	英語
科目名	
使用言語	
科目名	
使用言語	
科目名	
使用言語	
科目名	
使用言語	

学部・大学院科目

受講	可
受講可→聴講のみ/単位取得を選択	単位習得

学部・大学院科目

科目名	Burmese Language 2
使用言語	ビルマ語、英語
科目名	Intercultural Communication and Interaction
使用言語	英語
科目名	Cool Japan- Sushi, Manga, Anime
使用言語	英語
科目名	Under Western Eyes: Literature in South East Asia
使用言語	英語
科目名	Taoism
使用言語	英語

居住環境

居住環境	学生寮
家賃	月10万程度
支払い方法	クレジットカード
部屋人数（人部屋）	1人
家族・同居人（人）	5人でのキッチンシェア
門限	なし
食事	自炊

セキュリティ	★★★★☆
全体の印象	★★★★☆
大学までの距離	1.5km程度
大学までの所要時間	徒歩20分程度
応募方法	大学からの案内
近隣施設	コンビニ 銀行 スーパー 郵便局
その他の近隣施設)	駅
住居にあった設備	机・椅子 (部屋) キッチン (共有) ベッド (部屋) 冷蔵庫 (共有) シャワー (部屋) クローゼット (部屋) 洗面台 (部屋) インターネット (部屋) ランドリー (共有) 冷暖房 (部屋) トイレ (部屋)
その他住居にあった設備	

治安状況

住居周辺の評価	★★★★☆
大学周辺の評価	★★★★☆
気をつけるべき点	私自身が大学周辺でかばんごと盗難に遭い、友人も寮周辺でスリやマリファナの販売人等に遭ったようなので、注意は必要ですが、基本的には人通りが多く、過度の心配は不要です。夜や早朝での一人歩き、身の回り品には警戒してください。

学内環境

食堂の評価	★★★★☆
食堂についてのコメント	大学構内でフリーミールが配られているのでそちらを主に利用し、食堂はあまり使いませんでした。毎週木曜日にはFarmer's Marketがあり、多少高いですがとてもおいしいので行くといいかと思います。また、晴れている日はRussell Squareで友達とごはんを食べるのも楽しいです。
図書館の評価	★★★★☆

図書館についてのコメント	テスト期間中は24時間空いており、アジアの言語に関する本がたくさん置いてあったのでとても満足でした。ただ、自習スペースはエッセイの締め切りが詰まっている週やテスト期間は空いていないことも多いので、Kings Cross駅近くの大英図書館や、近くのカフェ等を利用して自習することもありました。
インターネットの評価	★★★★☆
インターネットについてのコメント	Wi-Fiは度々つながらないことがありましたが、基本的には強く、便利でした。
売店・ブックストアの評価	★★★★☆
売店・ブックストアについてのコメント	
大学のサポートの評価	★★★★★
大学のサポートについてのコメント	カウンセリングや相談がしやすい環境です
全体の印象) 評価	★★★★★
全体の印象) についてのコメント	第二のホームともいえるほど居心地の良い大学でした

スケジュール

Weekday(放課後の過ごし方)	図書館で予習のためのリーディングをこなしたり、近くのBrunswick Centreで友達と時間を過ごしたり、ジムに通ったり、Societyと呼ばれる、日本でいうサークル活動に参加したりしていました。ちなみに、私はJapan SocietyとDance Societyに入っていました。Language Exchangeを通じてできた友人は非常に刺激になりました。 寮でホームパーティーをよく開いて楽しんだことや、SOASのバーで飲んだこともとてもいい思い出です。 1日はエッセイやリーディング等の勉強や家事、もう1日は遊びに当てるようにしていました。時には休日を利用して近隣の市街や国に旅行に行くこともありました。
Weekend(休日の過ごし方)	旅行に行かなくとも、ロンドンは、大英博物館、ナショナルギャラリー、帝国戦争博物館などなど、多くの素晴らしいミュージアムが無料で利用できるのも、物価は高いですが、非常に文化的に充実した生活が送れるので、楽しみにしててください！

おすすめスポット・旅行先など

Royal Opera Houseは日本よりも安く上質なバレエやオペラが楽しめます。
大学から徒歩圏内にあるチャイナタウンは、食材を揃えることも、友達と遊ぶこともでき、よく行っていました。

また、イギリス国内やエディンバラ、ベルギー、パリもバスで安く旅行でき、全休や休日を利用しての日帰りも可能です。Reading weekや休暇を利用しての海外旅行は、プラハウィーン、モロッコスペインのルートが実際に行って非常に楽しかったのでおすすめです。

目標

1	東南アジアに対する見方を広げる
その成果 1	★★★★☆
2	英語とビルマ語を伸ばす
	★★★★

その成果2



3

西洋を理解しつつ西洋中心主義的思考から脱却する

その成果3



今後の課題

英語力をキープしつつビルマ語のさらなる向上に励む。留学で得たことを今後のゼミや主専攻、卒論、就活といったところにどのようにつなげていくかを考え、実践する。

直面した問題、日本で準備すべき、だったと感じたこと

様々な契約のログイン情報等をセキュリティの高いものに統一し、きちんと控え、整理し、電子データだけでなく、自分で把握しておくこと。私はこのあたりがあいまいだったために困ったことが何回もあり、反省しています。

また、日本史受験生は特に、世界史の知識をある程度付けておくと、授業から普段の友達との会話まで、かなり楽になると思います。

帰国後

進路予定

進学（国内）

就職の場合：内定している あるいは 目指す業界 修士課程で専修免許を取り教員になる方向を考えています

後輩へのアドバイス

様々な背景を持つ人たちが暮らすロンドンに生活し、多様性のあるSOASで勉強すると、自分の今までの思い込み、無意識下にあった偏見や差別等に気付くことになるかと思います。そこで自己嫌悪に陥らず、ではそこから何を学ぶか、ということに目を向けていくと留学生活が楽しくなると思います！

今後学生から質問が出た場合、メールアドレスを伝えても良いですか？ 可

基本情報

国名	イギリス
その他の国名（国名で「その他」を選択した場合）	
大学名	ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院
その他の大学名（大学名で「その他」を選択した場合）	

所属

言語文化学部・国際社会学部・大学院を選択)	国際社会学部
各学生の専攻する地域言語一覧より選択	ペルシア語
学年	4
留学時学年を選択	3

留学先

学部	交換留学のため指定なし
留専攻	同上

留学期間

開始	2018/8/23
終了	2019/6/15

留学前

留学の目的	①英語の運用能力の向上：英語で学部の授業を受け、学術的・専門的な内容を英語で理解できるようになる。 ②ペルシア語の運用能力の向上：専攻言語であるペルシア語の授業を留学先の大学で受講し、ペルシア語の技能をさらに高める。 ③卒業論文の資料集め：帰国後、中東におけるジェンダーをテーマに卒論執筆するための資料を収集する。
-------	---

求められた語学力

英語TOEFL	
英語	IELTS 6.5
その他	
レベル	CEFRレベルB2以上

情報収集方法

	先輩
	HP
その他	
参考になるHP	ロンドン留学センターHP（ビザ申請書類の準備時など）

留学準備

ビザ申請を始めた時期	7月
ビザ申請方法	派遣先大学からCAS（入学許可証）を受け取った後、イギリス政府HPよりオンライン申請。申請書類はビザ申請センターへ提出。
航空券を準備した時期	7月
航空券準備方法	旅行代理店を通じて航空券購入。
履修登録を始めた時期	9月
履修登録方法	SOAS（大学略称）のHP上にて。
入寮申込みを始めた時期	7月
入寮申込み方法	同HP上にて。
住居探しを始めた時期	6月
住居探し方法	同HP上にて。複数ある大学寮から価格・立地などを比較。
保険に加入した時期	6月
保険加入方法	大学指定の
予防接種を受けた時期	7月
予防接種の種類	破傷風、麻疹・風疹
語学強化を始めた時期	7月
語学強化方法	BBCニュースやTEDの視聴
その他の準備を始めた時期	
その他の準備内容	

留学中

--

学年暦

9月
1 学期開始
11月
Reading Week (1 週間の中休み。この期間に学期末に提出するエッセイのために文献を読む)
12月
1 学期終了。クリスマス休暇
1月
2 学期開始
2月
Reading Week
3月
2学期終了。イースター休暇
4月
3 学期開始。試験対策のためのRevision sessionが行われる。あとはひたすら試験勉強。
5月
試験期間。受講したクラスによって試験日が異なる。
6月
年度終了

留学生科目

科目名	Pre-sessional course (学部科目受講に必要な英語力を身につけるプログラム)
使用言語	英語
科目名	
使用言語	
科目名	
使用言語	
科目名	
使用言語	
科目名	
使用言語	

学部・大学院科目

受講	可
受講可→聴講のみ/単位取得を選択	単位習得

学部・大学院科目

科目名	Advanced Persian Language
使用言語	英語、ペルシア語
科目名	Gender and Society in Contemporary Japan
使用言語	英語
科目名	Issues in Gender and Development
使用言語	英語
科目名	Politics of Gender
使用言語	英語
科目名	The Anthropology of Gender
使用言語	英語

居住環境

居住環境	学生寮
家賃	736.5ポンド/月 (当時のレートで約10万円/月)
支払い方法	登録済みのクレジットカードから引き落とし。3回分割払い。
部屋人数 (人部屋)	1 人部屋
家族・同居人 (人)	フラットメイト6人 (キッチンのみ共有)
門限	なし
食事	なし
	★
	★
	★

セキュリティ	★★★★★
全体の印象	★★★★★ ☆☆
大学までの距離	1.6km
大学までの所要時間	徒歩25分
応募方法	HP
近隣施設	コンビニ 銀行 スーパー 郵便局 薬局
その他の近隣施設)	地下鉄・国鉄駅、ショッピングモール、映画館、ジム
住居にあった設備	机・椅子(部屋) 机・椅子(共有) キッチン(共有) ベッド(部屋) 冷蔵庫(共有) シャワー(部屋) クローゼット(部屋) 洗面台(部屋) インターネット(部屋) インターネット(共有) ランドリー(共有) 冷暖房(部屋) 冷暖房(共有) トイレ(部屋) トイレ(共有)
その他住居にあった設備	コモンルームにテレビ、ビリヤード台、Amazonロッカーあり

治安状況

住居周辺の評価	★★★★★ ☆☆
大学周辺の評価	★★★★★ ☆☆
気をつけるべき点	学生寮の最寄り駅前にカジノあり。路上生活者が多い。

学内環境

食堂の評価	★★★★★
食堂についてのコメント	5.5ポンドでランチを提供。ロンドンの物価を考慮すれば安い方だが、あまり利用しなかった。
図書館の評価	★★★★★ ☆☆
図書館についてのコメント	各地域の書籍・論文を取りそろえている。

インターネットの評価	★ ★ ☆
インターネットについてのコメント	図書館の一部で時々Wi-Fi環境が悪くなる。
売店・ブックストアの評価	★ ★ ★ ☆ ☆
売店・ブックストアについてのコメント	売店が小さいので、お昼時や授業後に非常に混雑する。
大学のサポートの評価	★ ★ ★ ★ ☆
大学のサポートについてのコメント	キャリアセンターやメンタルヘルスケアセンターから頻繁にメールが届く。
全体の印象) 評価	★ ★ ★ ★ ★
全体の印象) についてのコメント	学生の自治組織 (Student Union) の力が強く、学生自らが大学内の環境を作り上げていると強く感じた。移民排斥や学内スタッフの大量解雇に反対するデモが数回行われ、リベラルな雰囲気。

スケジュール

Weekday(放課後の過ごし方)	主に授業の予習。事前に読まなければならない文献がかなり多いので、たいていの場合、放課後はそれで終わる。 週に一度、日本語を学ぶ学生と日本語・英語の両方で会話するLanguage Exchangeに参加。 授業の予習、ロンドン市内の観光、映画鑑賞など。
Weekend(休日の過ごし方)	時間のあるときは国鉄を利用してイギリス国内を旅行。寮の最寄り駅から国内各地へ出る国鉄があるので、アクセスしやすかった。 毎週日曜はキリスト教の教会へ通った。

おすすめスポット・旅行先など

[ロンドン市内]
・大英博物館：SOASから徒歩5分の距離にあり、しかも入館料無料なので、もはや行かない手はない。
・ピカデリーサーカス・オックスフォードサーカス：ロンドン中心部のショッピング街。洋服やコスメのお店やレストランなど、あらゆる種類のショップが建ち並んでいるので、歩いているだけで楽しい。
・コヴェント・ガーデン：おしゃれなカフェや劇場が建ち並ぶ。演劇やオペラ好きにはたまらない。
[ロンドン市外]
・リヴァプール：ビートルズの生まれ故郷であり、二大サッカーチームの本拠地。海風を感じる爽やかな都市。
・エディンバラ：スコットランド地方の中心地。観光客が非常に多いが、イングランドとは違う雰囲気を感じられる。
・ストーク・オン・トレント：陶器生産で有名な街。ウェッジウッドやバーレイなどの陶器ブランドの工場があり、アウトレット品を安く購入できる。自然豊かな地域。

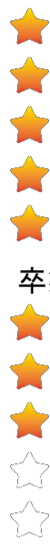
目標

1	英語の運用能力の向上
その成果 1	★ ★ ★ ★ ☆
2	ペルシア語の運用能力の向上

その成果 2

3

その成果 3



卒業論文の資料集め

今後の課題

・英語・ペルシア語の運用能力の維持：留学中に培った力を廃れさせないため、英語で書かれた新聞記事や論文から情報収集をし、英語で発信する機会を自らつくる。ペルシア語は大学の授業を受講し、学習を継続する。

・留学生活を経て卒業論文のテーマを変えることにしたので、新たに資料集めをする。その過程において、留学中に経験した様々な発見を忘れない。

・留学中に培った「常識」を疑問視する姿勢」を今後も常に持ち続ける。

直面した問題、日本で準備すべき、だったと感じたこと

・ビザ申請をもっと早い段階ですべきだった。ビザ申請の第一段階であるCAS（入学許可証）の発行依頼を自分でしなければならないことに気付くのが6月末だったため、留学開始までにビザが下りるか非常にヒヤヒヤした。何事も準備は早めに進めておくのが大切だと痛感。

・インターンに参加しておくべきだった。留学中はとても忙しく、業界研究が難しい。留学後すぐに就活をするなら、留学前のある程度の情報収集はしておいた方がよい。

[留学中]

・日本から大量に持参した5ポンド札と10ポンド札が旧紙幣のため使用できなくなっていた。新紙幣が発行されたのは過去2年以内と最近であるが、イギリスでは新紙幣が発行されると割とすぐに旧紙幣が使用できなくなる。そのため、イングランド銀行で新紙幣と交換した。

・持参したマルチカレンシータイプのプリペイドカード（キャッシュパスポート）がオンライン決済で使えないことが多々あった。クレジットカード・デビットカードなどは2種類用意しておくことと安心。カードが1枚しかない場合、現金での支払い不可且つそのカードが機械で読み取れない時に困るので。

帰国後

進路予定

未定

就職の場合：内定している あるいは 目指す業界

後輩へのアドバイス

・英語のスコアやGPAに不安を感じていても、その大学で学びたいという強い意志があるならば、自信を持って派遣留学に応募した方がよいです。条件さえ満たしていれば応募はできますから、なぜその大学でなければいけないのか、留学先で何を学びたいのかをいかに選考委員の方に伝えるかを意識して下さい。

・留学中、定期的に留学前に定めた目標を振り返って下さい。留学開始3ヶ月後ぐらいから時間が風のように過ぎていくので、ボーッとしていると何もせずに留學生活が終わってしまいます。何を達成して、何がまだ足りないのかを都度都度チェックすると、有意義な留學生活になると思います。

・ロンドンには日本人が意外に多く、日本人コミュニティーで固まってしまうがちです。英語力強化のために留学するならば、英語でコミュニケーションをとる環境を自分で意識的につくるのが大切です。

今後学生から質問が出た場合、メールアドレスを伝えて可
も良いですか？